



UEFA Assist Football for Women

Kick-off meeting

JAPAN

WE CARE ABOUT FOOTBALL

UEFA Assist Football for Women ワークショップ



ASSIST

<UEFA Assist プログラムとは>

ヨーロッパサッカー連盟（UEFA）が2017年にスタートさせた育成プログラムで、UEFAやその加盟協会の持つ経験とノウハウを世界各国のサッカー協会に提供しようという取り組み。

日本においては、2018年と2019年にJFAコーチの指導者研修の場として開催。その後はオンラインでの実施となり、対面形式での開催は4年ぶり。

<目的>

サッカーに携わる女性の、ピッチ内外のあらゆる分野における活躍を促進するため、女性のためのサッカーに関するトピックスや女性が活躍することの重要性について、ワークショップ形式で研修会を実施し、Football for Womenのためのベストプラクティスを共有し、よりよい環境整備や運営計画の策定の一助とすること。

<UEFA講師>

- project manager: Priscilla Janssens
- project team: Chris Milnes、Eva Pasquier、Jarmo Matikainen

WEリーグからの参加者



ASSIST

DAY1-2（3月20、21日） 女性のリーダーシップ				
所属	氏名	振り仮名	肩書	備考
三菱重工浦和レッズレディース	柳田 美幸	やなぎた みゆき	強化担当	
AC長野パルセイロ・レディース	前田 ふらの	まえだ ふらの	強化担当	
ジェフユナイテッド市原・千葉レディース	林 香奈絵	はやし かなえ	選手	チームキャプテン
ジェフユナイテッド市原・千葉レディース	櫻林 亜佐子	さくらばやし あさこ	レディース運営部/スタッフ	
ノジマステラ神奈川相模原	藤巻 藍子	ふじまき あいこ	アカデミーダイレクター/U-15監督	
WEリーグ事務局	石山 仁美	いしやま ひとみ	クラブコミュニケーション部	
WEリーグ事務局	町田 佳穂	まちだ かほ	競技運営部	
WEリーグ事務局	黒澤 由佳里	くろさわ ゆかり	プロモーション部	
WEリーグ事務局	鈴木ともみ	すずき ともみ	社会連携部	3月20日のみ参加

DAY3-4（3月23、24日） 女子サッカー発展のためのワークショップ				
所属	氏名	振り仮名	肩書	備考
マイナビ仙台レディース	深井 正吉	ふかい まさよし	GM	
ノジマステラ神奈川相模原	馬場 正臣	ばば まさおみ	代表取締役社長	
三菱重工浦和レッズレディース	加谷 緒里絵	かや おりえ	チケット担当	
三菱重工浦和レッズレディース	関口 亜矢	せきぐち あや	運営担当	
セレッソ大阪ヤンマーレディース	佐伯 真道	さえき まさみち	レディース事業部長兼GM	
ジェフユナイテッド市原・千葉レディース	高橋 薫	たかはし かおる	ユナイテッド事業部 社会連携活動G 兼レディース理念推進G	
大宮アルディージャVENTUS	武南 美弥子	たけなみ みやこ	財務担当部長	
WEリーグ事務局	高田 春奈	たかた はるな	チェア	
WEリーグ事務局	江川 純子	えがわ じゅんこ	組織開発本部	
WEリーグ事務局	加賀山 公	かがやま ひろし	フットボール本部	

DAY1-2 女性のリーダーシップ

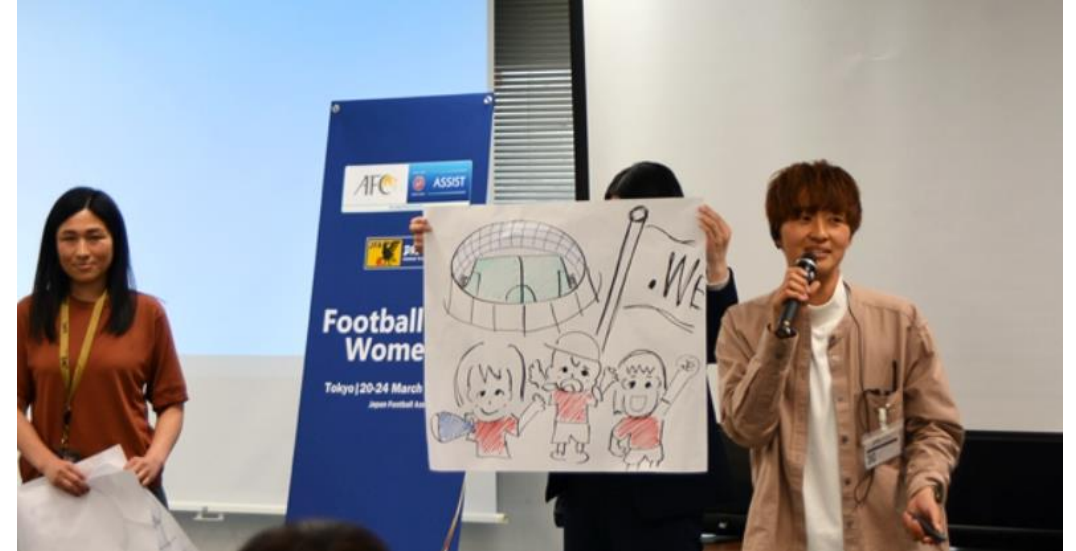


ASSIST



アジェンダ

- Women in Leadership
- Your career in football
- Developing your skills



DAY3-4 女子サッカー発展のためのワークショップ



ASSIST



アジェンダ

- Governance and administration
- Shaping a culture
- The importance of technical development
- Operational planning



・ 林 香奈絵選手（ジェフユナイテッド市原・千葉レディース）

今回UEFA Assistのワークショップに選手の立場で参加し、多くのことを習得できました。
私がとても印象に残ったことは、リーダーとしての立ち振る舞いや伝え方です。リーダーとしての自覚・責任を持ち、そして自信をもって行動・発言をすることなど、リーダーのあるべき姿を深く考えられました。
UEFAの講師の方々が世界を通して経験してきたことから直接得た学びや、このワークショップで習得したことを、所属クラブやこれからのサッカー人生で実行できるように努めていきたいと思います。

・ 石山 仁美（WEリーグ事務局）

自分の居心地のいい場所（コンフォートゾーン）から抜け出すことが大切、ということが印象に残っています。
自信がなくても、そのように見えるような立ち居振る舞いをしていると、自然と自信がついてくるような、形から入ることもありなんだと思いました。